

旧RD最終処分場問題連絡協議会

【開催状況】

第49回 令和6年6月7日(金) 19:00～20:42 出席者(県・市、地元住民等):33名
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の開催結果について 2. 令和5年度第4回モニタリング調査結果について 3. 維持管理の状況について 4. 遮水内部の安定化へのプロセスの状況について
第50回 令和6年9月9日(月) 19:00～21:19 出席者(県・市、地元住民等):31名
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の開催結果について 2. 令和6年度第1回モニタリング調査結果について 3. 維持管理の状況について 4. アーカイブ廃棄物編について 5. アーカイブ総括編について
第51回 令和6年11月25日(月) 19:00～20:30 出席者(県・市、地元住民等):35名
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の開催結果について 2. 令和6年度第2回モニタリング調査結果について 3. 維持管理の状況について 4. アーカイブ総括編について
第52回 令和7年2月4日(火) 19:00～20:00 出席者(県・市、地元住民等):26名
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の開催結果について 2. 令和6年度第3回モニタリング調査結果について 3. 維持管理の状況について 4. アーカイブ総括編について

【協議内容】

○モニタリング調査結果について

処分場の浸透水、周辺地下水の水質調査等は定期的に年4回実施され、全体的に安定な状態で推移しています。

周辺地下水については、調査地点の3地点でひ素の環境基準値超過が見られますが、いずれも自然由来のものと考えられています。また、ほう素が1地点において環境基準値を超過しています。ほう素については、イオンの主成分分析等の結果から、鉛直遮水工により付近の地下水の行き場が失われたため、過去の浸透水の影響が出ているものと考えられていますが、引き続き注視していきます。

敷地内の表流水が集まる洪水調整池の水質については、有害物質における環境基準の超過はありませんでした。洪水調整池から表流水が流入する経堂池の水質についても、5月に調査が実施され農業用水基準の超過がないことが確認されました。

硫化水素にかかる敷地境界ガス調査については、全地点で不検出となっています。

(関係資料 各回 資料2)

○維持管理の状況について

敷地内の設備等各所の維持管理については、管理委託業者及び県職員による施設の点検、水処理施設の運転調整や監視が継続的に実施されており、異常などは発生していません。
(関係資料 各回 資料3)

○アーカイブについて

旧RD最終処分場問題について、住民と県・市がともに事実関係の整理やこれまでの対応の振り返りを行い、記録として取りまとめるとともに、再発防止につなげることを目的として、旧RD最終処分場問題連絡協議会を作成主体としてアーカイブを作成します。

旧RD最終処分場問題における事案の経緯および得られた教訓等について記述する「総括編」と、県が行った対策工事について廃棄物編および工事編として記述した「対策編」として構成するものとなり、令和7年度末での完成を予定しています。「総括編」に旧RD問題における栗東市の対応経過等を記述するため、連絡協議会において意見をいただきながら作成しています。

(関係資料 第50回 資料4・5、第51回 資料4、第52回 資料4)

○遮水内部の安定化へのプロセスの状況について

対策工事の有効性を確認する遮水外部の地下水汚染拡散防止とは別に、遮水内部の安定化の考え方とその指標について改めて説明があり、また、安定化へのプロセスの状況について評価・説明がありました。

現在のところ、安定化へのプロセスは、廃棄物土の洗い出しおよび有機物の分解のプロセスを踏まえると、安定化に近い状態まで来ていると考えられています。

なお、浸透水の水質については、対策工事の掘削に伴う内部環境の変化の影響がみられたこと、ガスについては大気圧等の変動や微生物の活動が複雑に影響することから、引き続き安定化へのプロセスを見ていくこととされています。

(関係資料 第49回 資料4)

旧R D最終処分場跡地利用協議会

【開催状況】

第5回 令和6年11月25日(月) 20:00～21:30 出席者(県・市、地元住民等):34名

1. 旧R D最終処分場周辺における地域開発の状況等について (栗東市)
2. 現地視察会の実施報告について
3. 事例の紹介について
4. これまでの事例を振り返って (フリートーク)

【協議内容】

○旧R D最終処分場周辺における地域開発の状況等報告 (市説明)

旧R D最終処分場跡地利用を検討するにあたり、周辺地域における公共事業および民間開発事業等の土地利用、進捗状況について報告しました。(関係資料 資料1)

○現地視察会の実施報告

令和6年10月1日に実施された、野洲市蓮池の里処分場現地視察について報告されました。一般廃棄物最終処分場跡地を多目的公園として活用され、運動場およびグラウンドゴルフ場としての利用状況を跡地利用協議会で視察しています。

(関係資料 資料2)

○事例紹介について

最終処分場の跡地利用事例として、東京都八王子市の戸吹スポーツ公園が紹介されました。

施設概要

戸吹スポーツ公園

所在地：東京都八王子市戸吹町 1746-1

敷地面積：約9.8 ha

埋立期間：S57～H9

処分場形態：管理型一般廃棄物最終処分場

利用形態：サッカー・ラグビー場、テニスコート、スケートパーク、原っぱ広場

(関係資料 資料3)

○これまでの事例振り返り

第5回までの跡地利用協議会において紹介された7件の事例を踏まえ、各自治会から以下の意見がありました。

- ① 跡地単体でなく、周辺全体を考えた中で跡地の利用方法を考えてほしい。
- ② 住宅が周りにあることを考えて計画を進めてほしい。
- ③ 公園など憩いの場所になってほしい。
- ④ 若い方が楽しめるような施設がほしい。
- ⑤ ちょっと変わったものがあるような、特徴のある施設がほしい。
- ⑥ みんなが集えるようなものがほしい。